

学校教育目標

かしこく（知識と知恵） ただしく（道徳心） たくましく（健康） ゆたかに（コミュニケーション）
～ 「ひと」とのつながりを大切に生きる児童の育成 ～

組織運営

- 1 協働体制と機動力の強化
- 2 情報共有、指導・支援方法の明確化
- 3 オンラインやデジタル学習基盤のフル活用
- 4 指導支援スキルの向上【学び方・教え方・働き方】

目指す学校像

「みんなが輝く笑顔 自ら学ぶ意欲あふれる学校」

子どもたちに身に付けたい力（エージェンシー）

生成 AI やビッグデータ等の先端技術が加速度的に発展する Society5.0 において、幸福な人生と豊かな社会を自ら作り出していくために、学校で学んだことを地域社会で生かし、他者と協働しながら、自ら学び、自分の頭で考え主体的に行動する力

知識と知恵

＊主体的に学習する子
「自ら学び、考え、主体的に行動する」

道徳心

＊正しく判断し、思いやりをもって行動する子
「当たり前のことを当たり前」

健康

＊前向きに行動し、ねばり強く取り組む子
「健康な心と体をつくる」

コミュニケーション

＊人とかかわりを大切にする子
「対話で人と深くつながる」

本年度の重点・努力点

「主体的・対話的で深い学び」と「学びのポイント（じ・し・ゃ・く）」を統合した授業デザイン

- ① さいたま市アクティブ・ラーニング型授業の実践
※深い学びの実現を目指した探究的な学び
- ② 「学びの指標」を活用した振り返りと授業改善
- ③ 「学びのポイント（じ・し・ゃ・く）」がある授業
※学習者が主体的に学ぶ授業の実現

教科担任制、STEAMS 教育の充実

- ① 教科担任制を4年生の一部教科で実施
- ② 担任、教科担任、専科教員の連携強化
- ③ IoT を活用する力をはぐむプログラミング教育
「さいたま STEAMS 教育」「STEAMS TIME」の実践

健康でたくましい体の育成

- ① 防犯、交通安全、生活安全、防災教育の充実
- ② リスク・クライシスマネジメントの意識向上
- ③ 体力向上と学校給食による食育の充実

心の教育の充実、人権教育の推進

- ① 全教育活動を通じて行う道徳教育の充実
- ② 発達支持的生徒指導の推進
教職員の児童への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話及び、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけ
- ③ 児童と教師、児童相互の信頼関係の構築・発展
差別のない安全が確保された集団
- ④ いじめや問題行動の未然防止と早期発見と迅速かつ適切な組織的対応の徹底
- ⑤ 子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育相談、特別支援教育の充実

コミュニティ・スクールの推進

- ① 学校運営協議会とSSNの連携強化
※協働活動の実現
- ② 学校外の教育資源の活用
※公民館や図書館、企業、NPO 等
- ③ さいたま市コムスクシンポジウムへの参加 等

保護者や地域とともに

①教育活動の公開

学校 HP、学校安心メール、学校公開、学校行事 等

②保護者・地域の願い

懇談会、各種面談、学校運営協議会、いじめ対策委員会、各ボランティア 等

③連携・協働

P T A、SSN、近隣公共施設、読み聞かせ、おやじの会 等

さいたま市学校教育ビジョン

本市の教育が目指す人間像

社会課題の解決等をけん引し未来を切り開く
「社会の創い手」

「Well-being（幸せ）を保障する教育」の実現を目指して

一エージェンシーを発揮し、幸福な人生と豊かな社会を自ら作り出していくために一

Ⅰ「さいたま市スマートスクールプロジェクト（SSSP）」の加速度的な推進による、生涯学習社会を生き抜く「自立した学習者」の育成

- ・ICT を活用した学び（個別最適な学びと協働的な学び）の一体的な充実に向けた教育の実現
- ※クラウド上の自らの学びの履歴を活用し、自分に合った教材や学習方法、学習時間を判断し、自ら学習計画を立て、自己調整しながら学びを深める取組と、教師による伴走支援が不可欠となる。
- ・実体験や他者との対話・協働をはじめ、人との交流やつながりを重視した多様な学習活動の機会の創出
- ・ICT を活用した「働き方改革」の推進

Ⅱ 教育 DX を踏まえた多様な学びの場の創出と誰一人取り残されない教育を実現

- ・デジタルと体験・交流をバランスよく融合し、子どもたち一人ひとりの可能性を徹底的に伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を育成
- ※学びの場や居場所の選択の幅を広げる。具体的には Sola ルーム、教育支援センター、Growth、令和7年プレ開校、令和8年4月開校予定の「学びの多様化学校（いとり学園）」がある。

Ⅲ 学校に携わる全ての人のエージェンシーをはぐむコミュニティ・スクールを進化・深化・新価

- ・学校運営協議会制度やオンライン環境を活用して公民館や図書館に加え、企業やNPO など学校外の環境資源と社会の変化を教室に取り込む実践
- ・学校への子どもたちの思いや願いを受け止め、子どもたちが意見を表明しやすい環境づくり
⇒ 民主的で公正な社会を実体験できる場づくり